

2017年 11月 29日

## 【コラム⑬】～ 北エーゲ海のリゾート地「ボズジャ島」～

エーゲ海、地中海、マルマラ海、黒海の4つの海に面するトルコには、国内外からの観光客で賑わうリゾート地が数多くあります。特にエーゲ海、地中海には真っ青で透き通る美しい海が広がり、欧州諸国から「リゾート地」としても知られているトルコ。

みなさんトルコのリゾート地の一つ「ボズジャ島」(Bozcaada)をご存知でしょうか? ニューヨーク・タイムズ紙の「今年行くべき世界の都市2017」にトルコで唯一選ばれた注目の場所です。ボズジャ島はトルコの北エーゲ海に浮かぶ周囲38kmの小さな島で、トロイ遺跡でも有名なチャナッカレ県に属しています。人口は約2,600人ですが、夏には約1万人の旅行者が訪



れるリゾート地。エーゲ海の心地良い風が吹き流れ、のんびりと開放的な時間を過ごすことができる場所です。町を一望できる城塞はボズジャ島のシンボル。リゾート地にいながら遺跡を楽しめるのがトルコの特徴です。海の透明度はエーゲ海の中でも高く、5月末から10月中旬頃まで遊泳可能。夏の期間、ビーチはパラソルで埋め尽くされ、多くの人で賑わいます。港周辺の路地には白壁のおしゃれなカフェやレストランが立

ち並び、散歩をするだけでも島を満喫できます。レンタサイクルもあるので、自転車で探検してみるものいいでしょう。

ほとんどのレストランでシーフード料理を提供していて、スズキやタコ、イカなどの海の幸が食べられるのもボズジャ島ならではの楽しみ。トマトやヒナゲシなど風変わりなジャムもボズジャ島の名産品です。マスティック・ガム入りのトルココーヒーも味わえますよ。



そしてなんといってもボズジャ島と言えば「ワイン」。トルコのぶどう生産量は世界第6位で、特にトルコ北西部のトラキア地方やボズジャ島ではぶどう栽培が盛んに行われています。ボズジャ島の約3分の1がぶどう農園。島に吹く北西の季節風ポイズがぶどうの生育に適しています。島内には6つのワイナリーがあり、素朴で可愛いワイナリーからスタイリッシュなワイナリーまで様々。農園主催のワイナリー見学や試飲ができるツアーもあります。

毎年9月には収穫祭が開催されています。農園の人と一緒にトラクターに乗り、収穫体験をすることができます。収穫だけではなく、コンサートやフットボール大会などのイベントも行われ、島全体がお祭りモードに。その他にも7~9月にかけて島料理フェスティ



バルなど様々なイベントが開催されます。8月初旬に開かれるのはホメロスの朗読会。ホメロスの叙事詩イリアスの中で、テネドスの名で何度か登場する島が、現在のボズジャ島なのです。

ボズジャ島までのアクセスは、ゲイクリ（チャナッカレ中心地から南へ約50分）からフェリーで片道30分。リゾート地でゆっくり過ごしたい方、ぜひボズジャ島でスローライフを楽しんでみてはいかがでしょうか。



トルコ共和国大使館・文化広報参事官室広報代理店  
株式会社フォーカス